# 第3回七尾市総合計画審議会 議事録

	,
日時	平成30年2月23日(金)午後2時00分~午後2時30分
場所	七尾市役所 3階 議会全員協議会室
	【委員】
	南会長、佐藤副会長、奥井委員、柴垣委員、廣瀬委員、福嶋委員、
	都委員、守委員、木谷委員、前山委員、宮西委員、村田委員、
	大橋委員、千場委員、橋元委員
	(欠席) 川端委員、坂本委員、坂井委員、伊藤委員、国分委員
出席者	【事務局】
	白田総務部長、津田健康福祉部長、前田産業部長、粟津建設部長、
	長門消防長、寺尾病院経営本部長、船山市民生活部次長、
	石川教育委員会教育部次長
	楠企画財政課長、松田企画財政課長補佐、竹下企画財政課主幹、
	水谷企画財政課主任、富山企画財政課主事
委員会における議事内容(質疑応答・意見等)	
	1. 開会
南会長	2. 会長あいさつ
	昨年の7月に総合計画審議会委員の委嘱を受けてから7か月が経過
	した。この間、審議会及び部会を開催し、委員の皆様からいただいた
	ご意見をもとに、事務局で調整を行い、基本計画の素案を取りまとめ
	たところである。後ほど、事務局から説明があると思うが、本日は、
	この審議会で基本構想の素案についてご意見をいただき、その後の各
	部会において基本計画の素案について審議していただく。
	長丁場になると思いますが、委員の皆様には、日頃からご活躍され
	ている各分野の立場から、忌憚のない意見を出していただきたい。

#### 3. 審議事項

南会長

(1) 基本構想の素案について、事務局より説明を求める。

(第3回七尾市総合計画審議会資料により説明)

#### 一質疑・意見ー

南会長

まずは、I.基本構想(素案)について、目指す将来像や七つのテーマ、まちづくりの基本方針について、改めてしっかりと説明を受けたいところなど、委員の皆さんのご意見を伺いたい。

村田委員

基本構想(素案)は、市民憲章をもとに作成すると伺っている。 2 頁の目指す将来像にある「能登の未来を牽引し」について、これまでは「能登の中核都市」といった表現が用いられたこともあるが、「牽引」という字句は、表現が強すぎないか。何か別の表記を検討してはどうか。また、3 頁のまちづくりの基本方針について、表現が役所らしい。ここで挙げられた7つの基本方針と市民憲章との整合は図られているのか。例えば、「誰もが働けるまちづくり」といったように、柔らかな表現があってよいのではないか。

南会長

只今のご意見について、事務局の説明をお願いしたい。

事務局

本日、お示しした基本構想及び基本計画の素案は、コンサルタントからの提案段階の資料であり、今後、表現の適切性など、市民にわかり易いようにとのご指摘もいただく中で、市民憲章とまちづくりの基本方針にどのように整合するかなど、事務局でも調整した上で、修正案をお示ししたい。

本日は、委員の皆様からの忌憚ないご意見を賜りたく、ここでの事 務局からの回答は差し控えさせていただきたい。

南会長

村田委員は、事務局の説明に対しご理解を頂きたい。

修正案の検討に当たり、まちづくりの基本方針の説明文は素案のように2行程度でまとめることがよいか、さらに、先ほどのご意見に合った「能登を牽引」といった表記等について、事務局での検討をお願

いしたい。

それでは、住民生活部会長の奥井委員、ご意見は。

#### 奥井委員

能登の牽引役といったキーワードが例えば、広域連携における先導的な役割を担う等の基本施策で具体的に整合することがあるのか。目指す将来像には、基金事業やふるさと納税などの具体的な事業名を記載する必要はないとは思うが。

市民憲章に基づく目指す将来像やまちづくりの基本方針について、 必ずしも素案に示された7つの括りに捉われる必要はないと思う。例 えば、働くや交わるといったテーマは、産業だけに限らず、市民憲章 にある「碧光り」は、「紡ぐ」に変換することもできよう。さらに、基 本テーマの「学ぶ」や「受継ぐ」は、市民憲章の「歩み」にも関連す るし、市民憲章の「なみおだやかに」以降の4行は、「安らぎ」等に括 ることができれば、比較的わかり易いように思われる。

働く・交わるは「紡ぐ」、学ぶ・受継ぐは「はぐくむ」、安らぐ・住む・支えるは「安らぐ」という言い方になるのではないか。

このように、市民憲章を無理に7つのテーマで括ろうとせず、例えば、3つ程度で再整理し、7つのまちづくりの基本方針につなげるといった検討が必要ではないか。

#### 南会長

事務局には、只今の意見を踏まえ、基本構想(素案)の修正案を練っていただきたい。

では、教育文化部会長の橋元委員、ご意見をお願いしたい。

#### 橋元委員

基本構想(素案)を誰に読んでもらうかによって、書きぶりが異なる。市民を想定するならば、読んでわかり易い表現とすべきであろう。

また、総合計画は、計画期間が10年ではあるが、この機会に50年、100年前の姿を考慮し、計画を作成していくべきだと考えている。

そうした場合、まちづくりの基本方針についても、市民憲章がどのように7つの基本方針につながるのか、市民が納得、共感できるのかが問われる。基本構想では、これからの七尾がどうあるべきかを明確に示すべきではないか。

人口減少が進む中、これからの七尾のまちづくりで、何を行ってい くのか、インパクトがあり、市民の心が一つになるよう、100 年計画 を見据えた検討が求められる。

私は、以前にスペインを訪れた際、アントニ・ガウディの設計による建築物が300年の時間をかけて実現しようとしたことを知り、このような視点が、これからの七尾のまちづくりに求められると考えた。

こうした時間軸でのまちづくりは、以前の七尾でもみられたように 思う。例えば、私が若いころに携わったまちづくりの会議では、先輩 たちが、これからの七尾では、港をつくる、温泉をよくする、七尾城 を中心に文化を発展させるといった視点で議論が進められていた。

本総合計画においても、わかり易い言葉で、市民の心を一つにでき うる、インパクトのある表記が重要と考えている。「まちで人が動く」 といったキーワードを用いることも検討していただきたい。

南会長

一つは、まちづくりの基本方針を市民が理解できること、二つは、 市民憲章から基本テーマ、地域づくりの方針に展開する際のキーワー ドの括り方において、必ずしも七つに拘らず、キーワードを関連づけ てインパクトのある表記を検討することが求められるということであ ろう。

その際、具体的かつ 50 年、100 年のスパンで七尾を考える、特に、 若者が七尾の目指すまちづくりを理解できる内容が示されるよう、丁 寧な検討をお願いしたい。

では、佐藤副会長に、ご意見を伺いしたい。

佐藤副会長

これまでの各委員のご意見を伺った限り、私の意見とも重複することが多く、時間の都合もあるかと思われるため、私の意見は差し控えたい。

南会長

それでは、予定時間も押していることもあり、次に予定される各部会において、詳細な議論をお願いすることとしたい。審議会としては、各部会長からご意見を頂いたところであるが、特に、他の委員からご意見があれば承りたい。

奥井委員

目指す将来像の本文一行目にある「人口減少対策」を本市最大の課題としてよいものか。そうだとすれば、その課題解決に向けた施策が求められることになるが、委員の皆さんのご意見はいかがか。

南会長

確かに、七尾市のまちづくりにおける課題として、「人口減少」に絞り過ぎの感はある。例えば、産業との関わり等も考慮すべきであるし、この点については、事務局で再度の検討をお願いしたい。

村田委員

人口減少対策が課題であり、そのために、まちづくりの基本方針と して上げられた7つの項目が充実した施策として行われれば、解決さ れるという構成は、間違いではないと思われる。

南会長

その点について、事務局の考え方は。

事務局

七尾市のまちづくりにおける課題を検討する際、住む人を幸せにするといった視点も含め、人口減少に関するまちづくりの考え方、基本構想全体を再度、整理したい。

南会長

事務局には、目指す将来像について、次につながる表現方法を工夫していただきたい。

村田委員

先ほども申し上げた「能登を牽引する」の表記について、率直に申 し上げるとすれば、七尾市の総合計画でこうした表記は、恐れ多い感 じがする。

橋元委員

委員からの意見を、全て聞き入れるというよりも、今後の説得力の ある議論を進めるために、例えば、市の代表者を交え、5人程度で真 剣な議論を、長期スパンの視点から多面的に行う場を設けてはどうか。 こうした意見は、本審議会に限ったことではないかもしれないが、そ ういう気持ちで申し上げたい。

南会長

本来、本日の審議会までに、部会での議論を進め、総合計画の骨格・ 骨子をとりまとめることが理想的であるという見方もあろうが、今後 は、そうした点も含め、各部会で素案のチェックを行い、意見を反映 させることとしたい。

それでは、本日の審議会は、ここで終了し、続けて、各部会を開催 することとし、事務局にお返ししたい。

### 4. 閉会

## 事務局

本日は、慎重かつ貴重で鋭いご意見をいただき、ありがとうございました。本日は、次に行います各部会において、さらに議論を進めていただきたい。

一終了一